



更科源藏(さらしなげんぞう)
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動が続けた。
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。

著書の検印などに使っていた自作のエゾシカ印



役場庁舎前庭の文学碑「雲」



更科源藏文学碑建立期成会による「原野歷程」

更科源藏文学碑「雲」①

1977(昭和52)年は、更科にとつて光栄な出来事が続きました。作曲家・廣瀬量平の作品として、更科の詩集『無明』から「オロン鳥」ほか3つの詩に曲をつけた合唱組曲が発表され、これが文化庁の昭和52年度芸術祭ラジオ部門のラジオ合唱組曲の部で優秀賞となりました。9月には札幌市芸術文化功労者として表彰され、さらに10月には、故郷弟子屈に詩「雲」を刻んだ文学碑が建立されたのです。

更科の文学碑の話は、詩人で動物研究家の永田洋平(釧路短期大学教授―当時)によると、更科が編さんした『弟子屈町史』が出来上がった1949(昭和24)年ころからあって、永田の友人が弟子屈を去る1957(昭和32)年ころ、永田に「君と一緒にやりたかった仕事の一つに摩周湖に建てる源ちゃんの詩碑のことがあったな!」と心残り気に語ったと言います。

それから月日が流れ、1977年に弟子屈町役場庁舎が新築されることになり、前庭には弟子屈の産業に貢献のあった小田切栄三郎、青木貞行の顕著碑と、更科の詩碑が建立されることが計画されます。1976(昭和51)年秋、永田は一

度も会ったこともない森川勇作(当時、日刊スポーツ新聞社勤務で東京に在住。更科たちと詩誌『大熊座』を発行したことがある)に声をかけます。森川は、永田の熱心な語りかけに協力を承諾します。そして、永田は森川に言いました。詩碑のことを「まだ源さんに話していないんだ。うんというるか」。

弟子屈で詩碑建立の話が進んでいたころ、更科は「募金で他人に迷惑をかける詩碑など身も細る思い」と拒んでいたのです。森川は、中華人民共和国の招きで北海道文化界代表団の一員として出かける更科を、羽田空港に見送りに行った待ち時間に詩碑建立のことを話します。更科は「みんながやってくれるのに、イヤとも言えんな。迷惑をかけるのがイヤなんだ」と答えません。

一方で永田は、札幌の文学仲間たちにも更科を説得することをお願いしています。札幌の古い文学仲間たちの心のこもった説得に、更科はようやく詩碑建立を承諾しました。そして早速、道内の文学関係者が集まって更科源藏文学碑建立期成会がつくられ、顕著碑とは別に独自で寄付金を募ることになったのです。

(8月号に続く)



ひとつになつたよ



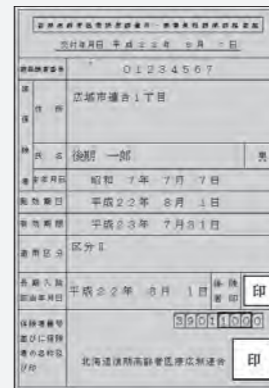
原夢香ちゃん

75歳以上(一定の障がいがあると認定された65歳以上)の方へ 後期高齢者医療制度(長寿医療制度)だより

●減額認定証をお渡しします

現在、使用いただいている減額認定証(限度額適用・標準負担額減額認定証)は、平成22年7月31日をもって有効期限が満了となり、8月以降は使用できなくなります。

7月中旬に新しい減額認定証をお渡ししますので、8月1日からご使用ください。新しい減額認定証の用紙の色は、だいたい色です。



住民税非課税世帯の区分Ⅰ・区分Ⅱの適用

区分Ⅱ	世帯全員が住民税非課税世帯である方に適用されます
区分Ⅰ	世帯全員が住民税非課税世帯である方のうち、次のいずれかに該当する方。 ●世帯全員が所得0円、かつ公的年金受給額80万円以下の方 ●老齢福祉年金を受給されている方

●医療費通知の送付を希望される方へ

これまで、対象となるすべての方に「医療費通知」を送付していましたが、平成22年度からは発行を希望される方のみへの送付に変更となりました。

今後も医療費通知を希望される方は、お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。既に「送付を希望する」旨の連絡をされた方は、再度連絡する必要はありません。

●保険料の支払い方法を口座振替に変更できます

後期高齢者医療保険料は、口座振替により納付することもできます。口座振替への変更を希望される方は、納入通知書・預金通帳・届け出印をご持参の上、保健福祉課窓口へお申し出ください。

☐問い合わせ先 / 役場保健福祉課医療保険係 ☎482-2935(課直通)